

行政事業レビューシート（文部科学省）							
予算事業名		準備教育推進経費		事業開始年度	平成13年度	作成責任者	
担当部局庁		高等教育局		担当課室	学生・留学生課 留学生交流室	留学生交流室長 氷見谷直紀	
会計区分		一般会計		上位政策	豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進 国際交流の推進		
根拠法令 （具体的な 条項も記載）		—		関係する計画、通知等	—		
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）		外国において学校教育を受けた者の我が国の大学への入学については、外国において学校教育における12年の課程を修了した、又はこれと同等以上の学力を有することを要件としているが、諸外国においてはフィリピンやマレーシア等のように中等教育の課程修了まで12年を要しない国がある。そのため、これらの国々で中等教育を修了した者については、「文部科学大臣が指定した教育施設において、我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程（準備教育課程）」を修了し、かつ、18歳に達した者に対し、大学入学資格を与えることとしており、こうした準備教育課程を開設する学校等の指定を行う。					
事業概要 （5行程度以内。別添可）		文部科学省が設置する「大学入学のための準備教育課程の指定等に関する調査協力者会議」において、準備教育課程を開設する学校の指定等のための調査等を行う。					
実施状況		平成21年度実績：新規指定1件、変更の届出16件 調査協力者会議の開催：1回、実地審査：2回					
予算の状況 （単位：百万円）			19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
		予算額（補正後）	6	3	1	1	1
		執行額	0.2	0.3	0.2		
		執行率	3.3%	13.0%	20.0%		
		総事業費（執行ベース）	0.2	0.3	0.2		
自己点検	支出先・ 使途の把握水準・ 状況	・謝金、旅費、庁費の使途に応じて、有識者や業者などに支出している。 ・経費の執行に際しては、執行一覧を作成し、支出先・使途を適切に把握している。					
	見直しの 余地	・各年度の執行実績等を踏まえ、所要額の算定を適切に見直す。					
予算監視の・ 効率化		本事業は、所掌する行政事務（文部科学省が設置する「大学入学のための準備教育課程の指定等に関する調査協力者会議」において、準備教育課程を開設する学校の指定等のための調査経費など）を推進するために必要な経費であり、納税者の視点に立って、引き続き効率化に努めるとともに、予算の執行率も低いことから、予算を縮減すべきである。					
補記							

A.文部科学省
0.2百万円

旅費 0.1百万円
謝金等 0.1百万円 } を含む

〔準備教育課程を開設する学校の指定等のための調査等を行う。〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.文部科学省			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	調査協力者会議委員旅費	0.1			
謝金等	調査協力者会議委員謝金 等	0.1			
計		0.2	計		
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		